

令和2年第4回さくら市議会定例会一般質問順番

令和2年12月2日（水）午前10時～ 4人

質問順番	質問者名
1番	手塚 定 議員
2番	笹 沼 昭 司 議員
3番	櫻 井 秀 美 議員
4番	福 田 克 之 議員

令和2年12月3日（木）午前10時～ 4人

質問順番	質問者名
1番	吉 田 雄 次 議員
2番	岡 村 浩 雅 議員
3番	若 見 孝 信 議員
4番	角 田 憲 治 議員

令和2年12月4日（金）午前10時～ 2人

質問順番	質問者名
1番	永 井 孝 叔 議員
2番	加 藤 朋 子 議員

手塚 定 議員

1. 給食センターについて

- ① どのような手法で作るのか
- ② 規模はどれくらいか
- ③ いつまでに作るのか

答弁を求める者 市長、教育長

2. 令和3年度予算編成について

- ① 編成にあたり基本的な考え方は
- ② コロナ予算の考えは
- ③ 財源の確保について

答弁を求める者 市長

3. 事務事業評価について

- ① 実施状況は

答弁を求める者 市長

1. 移住定住対策について

コロナの影響でテレワークが行われ、都市部から地方への移住に関心が出てきている。さくら市でも移住促進のホームページ「さくら市で暮らそう」があるが、現況と今後の展開について伺う。

- ①移住促進のホームページ「さくら市で暮らそう」の反応はどうか。
- ②テレワーク移住希望者に向けた情報発信をする必要があると思うが、ホームページの更新予定はあるか。
- ③インターネット環境完備のコワーキングスペースやシェアオフィスでのテレワーク移住体験などの企画は考えられないか。
- ④ワーケーション、ワークライフバランスなどのことばを耳にするが、さくら市ならではの情報発信の今後の展開についてはどうか。

答弁を求める者 市長

2. 地域共生社会に向けた包括的支援体制の整備について

「引きこもり問題」、「8050問題」、「ゴミ屋敷、虐待、孤独死」など、従来の 介護、障がい、子育て、困窮にかかわる制度ごとでは対応の難しさが指摘されており、今年度の社会福祉法の改正は地域共生社会の実現のため、課題を抱える本人や家族を丸ごと包括的に支援する体制の整備を行う重層的支援体制整備事業が、来年4月に施行される。そこで伺う。

- ①現在、複合的な課題を抱えている市民への相談支援体制の状況は。
- ②来年4月からスタートする重層的支援体制整備事業について、さくら市も取り組む必要があると思うが、市長の考えは。
- ③「断らない相談窓口」を設置する場合、「参加支援」「地域づくり支援」またそれらの推進のため、「伴走型支援」「訪問型支援」を実施する計画はどうか。
- ④重層的支援体制整備事業の実施に当たっては関係機関、部署の連携が重要となってくると思うが、具体的にはどの機関等とどのように取り組みを進めていくのか。

答弁を求める者 市長

3. デジタル化の推進について

菅内閣においてはデジタル改革担当大臣が任命され、デジタル庁の創設が決まった。また政府は今年度の骨太の方針において、「新たな日常」の実現として、デジタル化により人々の生活をより良い方向に変化させるデジタルトランスフォーメーションの推進やマイナンバー制度の抜本的改善等を掲げている。そこで伺う。

- ①ウィズコロナに対応するためにも、デジタル化に向けた行政手続きの見直しが必要になっているが、市長の見解を伺う。
- ②市職員のマイナンバーカード交付率の現在の状況は。
- ③市民のマイナンバーカード交付率の向上策は。
- ④デジタル化を加速して進めるために、「DX推進会議」などを設置して、若い世代のアイデアを積極的に活用すべきだと考えるが、市長の考えは。

答弁を求める者 市長

4. 印鑑手続きの廃止について

印鑑いわゆるハンコがテレワークや新しい生活様式の流れを阻害していると指摘されている。現在、国が進める行政手続きのデジタル化や社会のDX(デジタルトランスフォーメーション)は「押印の省略」が必要と思われますが、さくら市の対応を伺う。

- ①さくら市での押印を要する手続きはどの程度あるか。
- ②廃止できるものは幾つぐらいあるか。
- ③押印の廃止はいつ頃から始める予定か。

答弁を求める者 市長

5. 企業版ふるさと納税制度の活用について

企業版ふるさと納税については地方創生応援税制として、国も地方自治体が自主的に努力することを望んでいる。そこで伺う。

- ①個人版ふるさと納税制度では返礼品が寄附を活性化させた。導入を進めていると思うが、企業版ふるさと納税制度ではどのような展開を考えているのか。
- ②企業版ふるさと納税を活用するには、総合戦略を軸にした地域再生計画が必要であるが、さくら市には今年度に定めた地方創生プロジェクトがある。充当したい計画として十分か伺う。

答弁を求める者 市長

1. 花塚市長就任からの市長日程と、運転記録簿について

①人見前市長時の年度別運行距離、運転手の給与と、花塚市長の年度別運行距離、運転手の給与

答弁を求める者 市長

2. 花塚市長就任日からの経営会議、庁議等について

①理事会、庁議、経営会議、進化プラン推進会議に提出した資料のページ数は、年度別に

②理事会、庁議、経営会議、進化プラン推進会議、などに費やした時間は、年度別に

答弁を求める者 市長

3. 第2次さくら市総合計画の基本構想と基本計画について

①基本構想で、財政の見通しの令和2年の歳入見通しは166億9万円だが、予算では183億円である。その乖離原因は

②基本計画の中で、効果的、効率的な行政経営の推進、透明で健全な財政の確立の基本事業の構成と成果指標目標値と本年度の数値は

答弁を求める者 市長

1. シティープロモーションについて

さくら市は、合併してから15年を迎えた。花塚市長の任期も残り4ヶ月になり、当選以来、シティープロモーションについては特に力を注いでいると思います。道の駅のリニューアル、さくらテラスなどの施設オープンも重なり発信力も増したと思います。道の駅では「大正ロマン」をコンセプトにしています。

また、以前一般質問で取りあげましたが、歴史小説によるまちづくりは、ネットはじめ各方面でも話題になっています。話題と言えば、現在「鬼滅の刃」が映画公開され社会現象になっています。鬼滅の刃の時代設定は大正時代です。道の駅だけでなく、瀧澤家住宅、ささや別邸等市全体が大正時代をテーマに統一した発信はいかがでしょうか。

また、総合政策課や商工観光課だけでなく、各課が連携、一丸となる必要があると思います。そこで、シティープロモーションについて、市としての考え方を伺います。

- ①現在の対応
- ②関係機関(民間)との連携
- ③課題、問題点
- ④今後の対応

以上、詳細に問う。

答弁を求めるもの 市長

2. 都道府県、魅力度ランキングについて

今年の魅力度ランキングは、1位争いではなく、最下位争いでかつてないほど話題をさらいました。結果的に栃木県、茨城県ともに、テレビやネットで連日騒がれ、また、今回の知事選挙でも話題になりました。日光とは書いてあるものの、栃木の文字はどこにもない。他の地域にも同じことが言えて、宇都宮や足利、鬼怒川、佐野と名所はたくさんあるのに栃木とはあまり書かれていない。市町が住み分けされて、連携がとれていないことが原因と言われている。観光地も食べ物も一つひとつは魅力にあふれているのに、生かされていらないようです。そこで、魅力度ランキングについて、市としての考え方を伺います。

- ①現在の対応
- ②関係機関(県や他の市町)との連携
- ③課題、問題点
- ④今後の対応

以上、詳細に問う。

答弁を求めるもの 市長

3. 市内企業誘致について

最近、さくら市の企業誘致は大小含め増えています。市長が本部長となっている市企業誘致推進本部会議も開催されているとともに、企業アドバイザーの活躍や、市長や担当部署のトップセールスも効果が出ていると聞いている。

また、今回行われている知事選挙でも、県と市が連携した県産業団地の誘致(一般の企業誘致も含む)が話題になっています。特に、さくら市には、世界で活躍するトップクラスの企業も存在します。そこで、市内企業誘致について、市としての考え方を伺います。

- ①現在の対応
- ②関係機関(民間企業)との連携
- ③課題、問題点
- ④今後の対応

以上、詳細に問う。

答弁を求めるもの 市長

4. 投票率アップについて

全国的に見て、最近の知事選挙では、投票率が低いと聞いている。県民にとっては、衆議院参議院選挙と違い、報道も少なく有権者にとって一番遠い選挙なのでやむを得ないですが、各自治体でも投票率アップの秘策があると思います。例えば、鹿沼市やつくば市では選挙割という制度があり、市と民間の商工関係者が連携して、投票率アップを行っている。

また、学校での主権者教育などの更なる徹底も必要かなと思います。そこで、今後各種選挙が予定されていますが、投票率アップについて、市としての考え方を伺います。

- ①現在の対応
- ②関係機関(民間)との連携
- ③課題、問題点
- ④今後の対応

以上、詳細に問う。

答弁を求めるもの 選挙管理委員会委員長、教育長

吉田 雄次 議員

1. さくら市総合公園整備について

①総合公園内にあるテニスコートの夜間照明が故障しプレーが出来ないという。また、日曜日は係員が居なくて全くテニスコートが使用できないというが、現状は。

②9月中旬から夜間照明が故障していたというが照明の点滅は手動で行っているのか。
夜間照明システムをデジタル化(プレーイングタイマー)する予定はあるのか。

答弁を求める者 市長、教育長

2. 工業用地、住宅用地の確保について

今後のさくら市の人口増加につながる工業用地、住宅用地の確保はどのように考えているのか。

答弁を求める者 市長

1. 今後の少子化対策、子育て支援について

①経済的理由で結婚に踏み切れずにいるカップルを後押しする国の制度として「結婚新生活支援事業」が用意されている。来年度から補助上限額が倍増、要件も緩和されるなど改定される。さくら市でもこれをきっかけに導入する考えはあるか。

②コロナ禍における子育て相談の実施状況は。及びコロナによる増加はあるか。今後の相談支援体制はどうなっているのか。

③子育てを応援する祖父母のために、近隣自治体では「祖父母手帳」を配布している。さくら市でも配布したらどうか。

④市役所職員の育休取得の現状(男女別)。男性職員の育休取得が進んでいない原因は。及び今後の対応策は。

⑤市長自ら子育て支援に積極的であることを示すために「イクボス宣言」をしたらどうか。

答弁を求める者 市長

2. テレワークの推進について

①コロナ禍における、市役所内テレワークの実施状況は。

②その際明らかになった、メリットデメリットは。

③コロナに関係なく、妊婦や障がいを持った方、小さい子どもを養育中の職員など自宅でテレワークするメリットも多い。そこでこういった職員向けにテレワークを制度化する考えはあるか。

答弁を求める者 市長

3. 防災・減災対策について

①市内に存在する民有地における崩落の危険がある斜面はどのくらいあるか。

②10月14日付で国交省より各地方整備局に対し民有地の斜面に防護ネットなどを設置する場合、国の「防災・安全交付金」が充てられる旨周知された。今後この交付金を利用し、どのように民有地の斜面崩落防止を図っていくのか。

③2018年8月の豪雨等により市街地の排水が間に合わず、床下浸水した地域があった。その後の対応はどうなっているのか。

④今後雨水排水のためグレーチング増設や側溝を改修する予定は。

⑤個人宅に降った雨水の流出抑制のため「雨水貯留タンク」や「雨水浸透枳」の設置が考えられる。これらに補助を出す考えはあるか。

答弁を求める者 市長

若見 孝信 議員

1. さくら市地元応援クーポン券について

- ①総販売枚数と金額はいくらだったか
- ②現時点で実際に使用されたクーポン券の金額はいくらか

答弁を求める者 市長

2. 新型コロナウイルス感染症の影響とその対策について

- ①市の新型コロナウイルス対策資金の貸し付け状況と、主な業種別の内訳は
- ②県のパワーアップ資金の市内事業者の借り入れ状況はどの程度か
- ③今後も厳しい状況が続く場合に新年度予算で市としての事業者への支援策は検討されるか

答弁を求める者 市長

3. 特殊詐欺防止の取り組みについて

- ①消費生活センターへの特殊詐欺に関する相談員の方々は具体的にどのような対応をされているのか
- ②現在の防止機器購入補助制度について、市民はどのような周知をされ、具体的に何台の設置がされたか。

答弁を求める者 市長

角田 憲 治 議員

1. 花塚市長 1 期目の総括と次期市長選挙への対応について

- ①「さくら市進化プラン」の実績について
- ②「目的未達成項目」への対応について
- ③市長 1 期目の反省について
- ④花塚市政の総括について
- ⑤次期市長選挙への取り組みについて

答弁を求める者 市長

1. 財政政策について

新型コロナウイルス感染拡大の影響で、県内の多くの市町が経済活動の停滞などによる
税収減を想定している。このため、財源確保に向け、財政調整基金の取り崩しや不要不急
事業の延期・凍結などを迫られている市町もあり、行政サービスの低下が懸念されている。

大田原市などでは、市長ら特別職の給与を一部カットするとともに、矢板市は職員の長時
間労働抑制などで人件費を削減したほか、保留地の売却促進により財産収入の増加を図っ
ていると聞かすが、本市では理事の設置や部長の増員などで幹部職員の人件費が4年前よりも
大幅に増加している状況にある。

そこで、本市の税収見込み及び財源確保対策について市長に伺う。

答弁を求める者 市長

2. 障害者福祉について

平成 25 年 4 月 1 日から「国等による障害者就労施設等からの物品等の調達に関する法律(障害者優先調達推進法)」が施行された。

この法律は、障害者就労施設等で就労する障害者の経済面の自立を図るため、国や地
方公共団体等の公的機関が、物品等を調達する際に障害者就労施設等から優先的・積極
的に購入することを推進するために制定されたものである。

障害者優先調達推進法により、国や地方公共団体等は、毎年度、障害者就労施設等か
らの物品等の調達について、調達方針を策定・公表し、当該年度終了後、実績を取りまとめ、
公表することになっている。

本市では昨年度 150 万円の目標を掲げたが、実績はそれよりだいぶ低い 108 万円であっ
た。

そこで、本年度の障害者就労施設等からの物品等の調達状況について市長に伺う。

答弁を求める者 市長

3. 子どもの読書離れ対策について

すべての学力の基礎となる国語力を育むためには、読書は欠かすことができない。

しかし、県教育委員会の発表によると、1か月に1冊も本を読まない不読率は、小学生が7.4%、中学生が16.1%、高校生が49.9%でいずれも前年より悪化していると聞く。

子どもの読書活動を推進するためには、学校図書館の充実や家庭内での取り組みなどの課題がある。

このため、宇都宮市では学校司書をすべての市立学校に配置し本の楽しさを教えていると聞く。

本市では、進化プランで「学力県内トップクラスの達成」を掲げているが、子どもの読書離れ対策についてどう取り組んでいくのか、市長及び教育長に伺う。

答弁を求める者 市長、教育長

1. 公共交通の利便性を高めるには

移動手段の確保は生活の要であり、高齢社会にある昨今の自治体における重要課題の一つである。市内公共交通の満足度は上がってきてはいるものの、充足には未だ多くの課題が存在すると思う。

そこで以下の点について市長の見解を問う

- ①公共交通利用者はほぼ自家用車を持たない層であり、交通弱者と呼ばれるこれらの層の、利用者目線での課題抽出を行う考えは。
- ②デマンド交通の土日祝日運行、バス停や駅を発着地とするなど柔軟な事業展開の考えは。
- ③自家用有償旅客運送や福祉有償運送等との連携は。
- ④スクールバスを空き時間に市内循環バスとして利用する考えは。

答弁を求める者 市長

2. さくら市版DXをいかに推進するのか

コロナ禍により我が国のアナログさがはからずも露呈してしまった。官民挙げて、国際水準DXへの速やかな移行は急務である。

行政サイドでは、まずシステムのデジタル化、手続きの迅速化などが必要不可欠である。また民間サイドでもITを駆使した、在宅勤務、オンライン会議等、働き方や生活のドラスティックな変化が進むと思われる。そこで当市の現状と展望を問う。

- ①行政手続きの簡素化、書類への押印廃止は。
- ②ワーケーションへの対応は。
- ③起業支援、コワーキングスペース等提供の考えは。

答弁を求める者 市長